場所・面積　鹿児島県大島郡龍郷町、1.6735ha

管理目的　環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠＢ類のアマミノクロウサギをシンボルとして、多様な野生生物の生息・生育環境を保護することを目的。

サイト概要　鹿児島県・奄美大島の北部に位置するナショナル・トラスト地。アマミノクロウサギが生息するスダジイやリュウキュウマツ等から成る森。2013年、当協会が奄美大島の南部（瀬戸内町古志）にアマミノクロウサギ・トラスト1号地を取得した際、トラスト活動のことを知った土地所有者が活動の趣旨に賛同し、自身が所有する森を当協会に託したいとのことで取得に至る。
※取得日：2020年8月4日
※取得方法：購入



土地利用の変遷　従来から森林地帯の一部として管理されてきた。

サイト周辺の環境　奄美大島北部におけるアマミノクロウサギやルリカケス、アマミイシカワガエル等の重要な生息地になっている森林地帯に位置する。近接する「奄美自然観察の森」は、自然観察や風景探勝の利用拠点となっている。

アピールポイント　ナショナル・トラスト活動により当協会が取得（購入）した森。ナショナル・トラスト活動は、個人や企業から広く寄附金を募って土地を買い取る、又は所有者から土地の寄贈を受けること等により、自然環境等を「国民の財産」として保存する活動である。当サイトは、この仕組みにより守られている森である。



奄美大島等に生息するアマミノクロウサギ

生物多様性の価値

価値（６）希少な動植物が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

奄美大島の北部、龍郷町にある約1.7ヘクタールの森。

環境省レッドリストにおいて絶滅危惧ＩＢ類に選定されているアマミノクロウサギの生息が確認されている。

【主な植生】

- 環境省植生調査（1/25,000）において、「ギョクシンカ－スダジイ群集」及び「リュウキュウマツ群落」に該当。
- 「奄美群島国立公園　公園計画書」において、本サイトを含む付近一帯の森林は、リュウキュウマツの割合の高い照葉樹二次林であり、奄美大島北部のアマミノクロウサギの主要な生息地として重要とされている。

【確認された主な動植物】

アマミノクロウサギ（*Pentalagus furnessi*）



写真番号：1　　写真の撮影年月：2019年12月
写真の説明：トラスト地のそばを通る県道で確認したアマミノクロウサギの糞。



写真番号：2　　写真の撮影年月：2019年10月
写真の説明：スダジイ、リュウキュウマツなどから成る二次林。

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
• アマミノクロウサギの生息地となっている森を、当協会が所有することで維持している。 • 人為的な手を加えないということを主旨としたトラスト地。 （「人為的な手を加えない」という「管理措置」を実施している） • 災害発生等、問題が生じた場合は、現地確認を行う体制をとっている。	• 現在、環境省が、希少種保護及び国立公園・世界遺産管理の観点から、奄美大島におけるアマミノクロウサギの生息状況モニタリング（沢に落ちている糞のカウント、目撃情報の記録等）を実施し、分布域等を把握・更新している。 • 環境省と情報交換等の連携を行いながら、環境省が実施・把握しているその他の生物（アマミヤマシギ、カエル類等）のモニタリング結果も含め、本サイトの状況把握に努めていく。